

冷静な対応 (IIサムエル 5:17-21)

信者の私たちが周辺と良い関係を保ちたいと思っ
ていても、信仰の理由で関係がこじれたり、
困らされることがあります。この世、現場では、
そのようなことが起きるのが特徴です。信者である
私たちは、そのようなとき、とまどったり、気落ちし
たりしないで、冷静に対応することによって、神様
のみこころ、導きを受け、勝利することができます。
今日の聖書箇所は、ダビデが王となったことが敵
であったペリシテに伝わり、イスラエルが強くなっ
てはいけないということで、ペリシテがダビデをつ
ぶしにきたことが書かれています。そのとき、ダビ
デは、神様に向かい、神様の指示どおりにして勝
利を収めました。ペリシテは彼らの神や偶像を捨
てて逃げ去り、そののち、弱くなったことが書か
れています。

世の付き合いの中で、信仰にゆえに衝突した
ときは、まず、とまどうことなく、**自分の存在、アイ
デンティティを再確認して固める**材料にしましょう。
信仰ゆえに憎まれ、嫌われて、苦しめられるか
のように見えますが、本当は信者を恐れるからそ
うな行動をとっているのです。ペリシテはダビ
デを恐れたので攻撃してきました。聖書には最初
からそのようなことが書かれています。アベルはキ
リストを持っていましたが、カインはキリストを無
視していたので空中の権威を持つ支配者にコン
ロールされていたので、霊的に恐れて、消してしま
えばどうかなと思って殺してしまいました。しかし、
殺しても勝利ではありませんでした。パリサイ人
はイエスを十字架につけました。神の律法を犯
すという理由だったのですが、本音は「悪魔から
出た者」と言われたとおり、彼らはキリストが恐
くて仕方なかったのだと、つぶしに来たのです。
ユダヤ教が初代教会をつぶそうと迫害して、全
地に散らしたのも、恐れによってでした。見える
現象は、大きい権力がつぶしに来たかのように見
えますが、実は、その背後の神は偽物の悪魔な
ので、本当は恐れているのです。信者の私たち
は、どんなに

迫害され、散らされているようでも、まことの
神、創造主の神がともにおられます。イエス様
は「世においては患難がありますが、しかし、大
胆でありなさい。わたしは世に勝ったのです」と
言われました。世に受け入れられ、良い待遇を
受けると思うのではなく、霊的には憎まれ、つ
ぶしに来るのが世の中なので、迫害を避けるこ
とはちがっていません。教会の歩みは戦争です
(戦闘的教会)。信仰を理由に衝突が起きると
きは、自分はサタンが恐れる光の子、サタンに
制せられている人々を助ける神の子ども、伝道
者だとアイデンティティを固めましょう。世の中
にそのアイデンティティを持って遣わされている
のです。

そして、**自分の思い、感情ではなく、キリストを
主人としてお迎えして、自分の判断、考えをおろ
して神様の指示に従いましょう。そのため、神様
のみことばを求めましょう。**なぜこのようなこと
があるのかと問い、返事を待てばよいのです。そ
の質問とともに聖書に目を通して、日曜の講壇
のメッセージで答えを求めましょう。全幅の信
頼を持ってみことばを聞くのです。祈りの手帳、
個人のデポジションを通して、聖書に目を通し
て、神様が返事をしてくださることを体験しま
しょう。聖書で用いられた預言者は、全員、そ
うのようにして、なぜイスラエルがこのように
なったのかと尋ね、神様から答えをもらいま
した。初代教会は迫害の中で、みことばをも
ってその迫害の答えを受けました(使徒 4:25-
26)。自分は光であり、神の子どもで、尊
いいのちがある、キリストの権威と力があり、
その権威と力が流れ出る存在なのだ。だから、
このような迫害があると認め、そこでみことば
に答えを求めて、神様に従いましょう。

そして神様からの返事を握って、祈る時間
を持ち、聖霊の導きに従いましょう。みことば
にオールインするのです。そうすれば、ダビ
デが勝利したように敵を打ち砕くようになります。
そのように勝利する戦いをする時を持ちましょ
う。聖霊の導き

を求めて**愛と福音の剣を持っていのちの福音の
爆弾を爆破する戦いに挑みましょう。**それが福音
宣教です。キリストの愛と福音があかしされる時
を期待して、聖霊の導きに従って行くことが反
撃です。偽物の神であることがあかしされ、キ
リストとまことの神様があきらかにされること
を体験しましょう。それが神の国が臨むこと
です。人々が自分の神々、偶像を捨ててキ
リストを主と告白する勝利が現場に備えられ
ています。そして、その勝利は、さらにず
っと続く最初のボタンになります。ダビデは
ずっと勝利して、領土を広げて行きました。そ
うのように、私たちがキリストの国を広げよう
になります。たしかに私たちのいやしも必要
です。しかし、迫害してくる相手が大きく勢
力が強い場合、それは、勝利のための過程だ
と思いましょ

う。背景に働く暗やみがあることを覚え、自
分のアイデンティティを確認して、内におられ
るキリストを主人として、みことばにオール
インしましょう。そして、最善の策をくださ
るので、自分の考えを下ろして、みことばに
聞き従いましょう。背後の暗やみの力が砕
かれることを信じて、福音の剣、愛、いのち
の剣を使うときまで待つ、内側が豊かな主
人公になるように祈りましょう。

「困難を通して、自分の存在価値、アイ
デンティティを確かめ、キリスト・みことば
にオールインしますように。愛の福音の剣
で、反撃できる時が当たられますように」と
祈りましょう。

<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています

IIサムエル記 5:17-21 冷静な対応

なるほど/ 信仰を理由に関係が難しくなり、
困難に遭うとき、戸惑ったり気落ちせずに、
むしろ冷静に信者自分の存在価値を再確認
し、自分を下ろして主の言葉に一層深入り
すると、福音による反撃のときが来て霊
的な勝利を見るようになる。

ならば/ 信仰が理解できなく面白く思
わない周りに対して霊的な余裕のある冷
静な対応で、神様を主人とするオール
インの機会にしよう。それで背後勢力
が崩れる現場勝利を体験しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2020年7月12日)

1部礼拝: 悔い改め運動と罪過のためのいけにえをささげる教会 (レビ 5:14-19)

どのような苦しみや傷にも陥ることなく、幕屋の礼拝を通してすべてを回復させてくださり感謝いたします。神殿(建築)を通して重要な契約を逃さず、すべてを回復させてください。神殿(建築)を通して福音を逃さず、福音を握った次世代が起こされてわざわざの時代を止めますように。次世代に献金を正しく教えて、聖殿建築を通して光の経済を完全に回復させてください。この契約を握って、これからすべてのことを回復させてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝: 全焼のいけにえのおしえと教会 (レビ 6:8-13)

24時燃やし続ける全焼のいけにえのおしえを持って、24時「ともに」の幸せを味わい、その神殿を建てるようにして下さり感謝いたします。24時、全焼のいけにえの祭壇の火が燃え続ける神殿を準備させ、サタンに打ち勝つ力を24時味わいますように。24時燭台の明かりを灯し続ける神殿を準備して、天幕で、会見の天幕で神殿に向けて、24時祈りますように。24時垂れ幕の外側の庭に明かりを灯す神殿を準備して、異邦人、旅人、子どもたちが集まって祈ることができますように。24時「ともに」を味わい、25時「神の国」が成就されますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。